

# 信州型コミュニティスクール

## 北信地区活動だより

NO. 13 (令和2年7月) 北信教育事務所生涯学習課 文責：指導主事 岡田 絵美

すべての公立小・中学校で信州型コミュニティスクール（以下、「信州型CS」）の仕組みが整い、コミュニティスクールの充実に向けて、それぞれの学校や地域で工夫した活動が広がっています。第13号では、新型コロナウイルス感染症による休業後の活動についてお知らせします。

### 八幡小



### 「環境整備活動」

～子ども達のために何かしたい！という地域の声から～

#### ■ 地域の皆さんの想いが活動につながる

休業が明けてから、学校現場でも「新しい生活様式」に従い、新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの生活が続いています。千曲市では、子ども達や地域の方の安全を考慮し、ボランティアの皆さんの学校での活動を一時中止しています（令和2年6月現在）。

そんな中で、4年前からボランティアをされているNさんから、学校にこんなお話があったそうです。

「子ども達のために何かやりたくて、いてもたってもいられません！」

八幡小学校では、これまで、地域の方と子ども達が一緒に草取りをし、作業を通して交流を深める活動を行ってきましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で実現できていません。今回、このような申し出を受けた学校は、市と相談の上子ども達は参加しないで、地域の方のみで作業をしていただくこととし、環境整備活動等が行われることになりました。

当日は11人もの地域の方々が集まってくださいました。

【活動を提案して下さったNさんに想いをお聞きしました】

学校からお呼びいただくだけでなく、子ども達の為に、自分達から動きたいと思っています。周りの人にも声をかけて活動に誘うようにしています。



#### ポイント

地域の方の想いをお聞きすることで活動が生まれた事例です。日頃から気軽にお話しする関係づくりを大切にしたいですね。



## ■ コロナ禍でもできる「交流」を

作業開始は8時ですが、7時半過ぎから地域の方が少しずつ集まってこられました。集まった皆さんで、近況報告や農作業の進み具合など、わいわいとお話が弾み、ボランティアさん同士の交流の場にもなっていました。

昇降口では、手を振りながらあいさつする様子が見られます。八幡小学校では、今年度の重点目標「つなげる・つながる八幡っ子」を目指し、昇降口で手を振ってあいさつをし、登校してきた子ども達が、次に登校してくる友だちに手を振って…と「つなげて」いくあいさつを始めています。地域の皆さんも、昇降口で手を振りながら笑顔で子ども達を迎えていました。地域の方と子ども達も、挨拶を通じてつながりを深めていました。



ちょっとしたやりとりで、「顔の見える関係」ができていきます



活動の様子を見た子が「お手伝いしたい」と短時間参加していました

地域の方が校庭の草取りをしてくださることは、事前に担任の先生を通じて子ども達にも伝えられていたそうです。活動の場を近くしたり、動線を重ねたりすることで、地域の方との自然な交流が生まれていました。

**ポイント**  
活動の時間、場所等の工夫で様々な関わりや交流を生み出すことができます



ご活用下さい！

### 「地域で支える学校サポート活動実践事例集」

各校のコミュニティスクールの取組をまとめた「地域で支える学校サポート活動実践事例集」が学校に1冊ずつ配付されています。どのような学校支援の活動が行われているのか、コーディネーターはどんな立場の方が務めているのか、また地域との連携・協働によってどのような効果や変化があるのかなど、多くの情報が掲載されています。活動の参考にしたり、他校と連絡を取り合うきっかけとしたりして、活用してください。

ぜひ、活用の状況やご意見などもお寄せください。



地域とともにある学校づくりの充実に向けて、学校や地域に向いての信州型CSの基礎研修や実践事例の紹介などをします。お気軽に連絡していただけたらと思います。

■■ お問い合わせ先 ■■

北信教育事務所生涯学習課 〒380-0836 長野市大字南長野南県町686-1  
Tel: 026-234-9552 E-mail: [hokushinkyō@pref.nagano.lg.jp](mailto:hokushinkyō@pref.nagano.lg.jp)